



赤十字ありがとう通信 NO.10

みなさまのおかげで、私たちの活動が成り立っています。
赤十字の様々な取組み等をご紹介します。

日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

発行日/令和元年9月1日 発行/日本赤十字社 広島県支部 〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64

赤十字運動月間



5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」の創設日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を、日本赤十字社は「赤十字運動月間」とし、毎年赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかける活動を行っています。

今年は「続ける」をスローガンに、県民の皆様へ赤十字の活動をより知っていただくための取り組みを行いました。

- 2019ひろしまフラワーフェスティバル パレードへの参加
- レッドライトアッププロジェクト2019の実施
- 県内各地域や路面電車におけるポスター掲出
- テレビ局・ラジオ局でのCM放送、出演



アンリー・デュナン

2019ひろしまフラワーフェスティバル



5月3日(金)に開催された「2019ひろしまフラワーフェスティバル」のパレードに参加しました。マーチングバンドの演奏に合わせ、ボランティアと職員を中心に総勢200名でパレードを行いました。

レッドライトアッププロジェクト2019



日本赤十字社では、全国の歴史的建造物やランドマークとなる施設を赤くライトアップする「レッドライトアッププロジェクト」を実施しています。広島県では5月8日(水)から1週間、広島駅前の「エールエールA館」の一部をライトアップしました。

去年は広島城を
ライトアップしたよ!



救護員の研修・訓練

災害発生時に直ちに救護活動ができるよう、県内3か所の赤十字病院に救護班を常備しています。この救護班は、医師・看護師・薬剤師・事務で構成され、災害時には救護所の設置、被災現場や避難所での診療、こころのケア活動などを行います。

広島県支部は平時より災害に備え、速やかに活動ができる救護員を育成するため、支部・赤十字病院・血液センターの職員を対象に、毎年研修・訓練を行っています。

7月24日(水)、ボランティアにも協力をいただき、救護所・避難所・災害対策本部の運営を想定した実践研修会を行いました。



救護所レイアウトについてのグループワーク



傷病者役ボランティアに容態確認をする救護員



医師を中心にミーティングを行う救護班

赤十字活動を支える赤十字奉仕団

●赤十字奉仕団とは

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくためにさまざまなボランティア活動を展開しています。

奉仕団は「地域赤十字奉仕団」「青年赤十字奉仕団」「特殊赤十字奉仕団」の3つに分類され、県内にあわせて35団体組織されています。

また、各種奉仕団の連携強化や活動の充実を図るため、協議会や研修会等を開催しています。



赤十字奉仕団マーク



●赤十字奉仕団の数

	団数	団員数
地域赤十字奉仕団	24	11,687
青年赤十字奉仕団	5	102
特殊赤十字奉仕団	6	281
計	35	12,070

令和元年5月1日時点



●主な活動紹介



救援物資の搬出



炊き出し



救急法等講習



アマチュア無線通信

健康・栄養奉仕団の結成

5月1日(水)、県内の病院、学校、企業で働く栄養士・管理栄養士を中心とした健康・栄養赤十字奉仕団(団員10名)が結成されました。この奉仕団は、大和重工(株)様の社員の皆様が、過去の災害での炊き出し体験から、もっと被災者に寄り添える活動を行いたいとの強い思いから結成に至ったものです。

5月11日(土)には、広島女学院大学人間生活学部管理栄養学科の学生とともに、平成30年7月豪雨災害の被災地となった安芸郡坂町の仮設住宅を訪れ、炊き出しと栄養相談を行いました。



健康・栄養赤十字奉仕団と広島女学院大学の学生



炊き出しの様子



仮設住宅の皆様には振舞った筍ごはん和味噌けんちん汁

赤十字の大事な要! ボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございます。

●お問い合わせは、広島県支部組織振興課まで

お問い合わせ



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64

TEL 082-545-5011

FAX 082-240-2741